

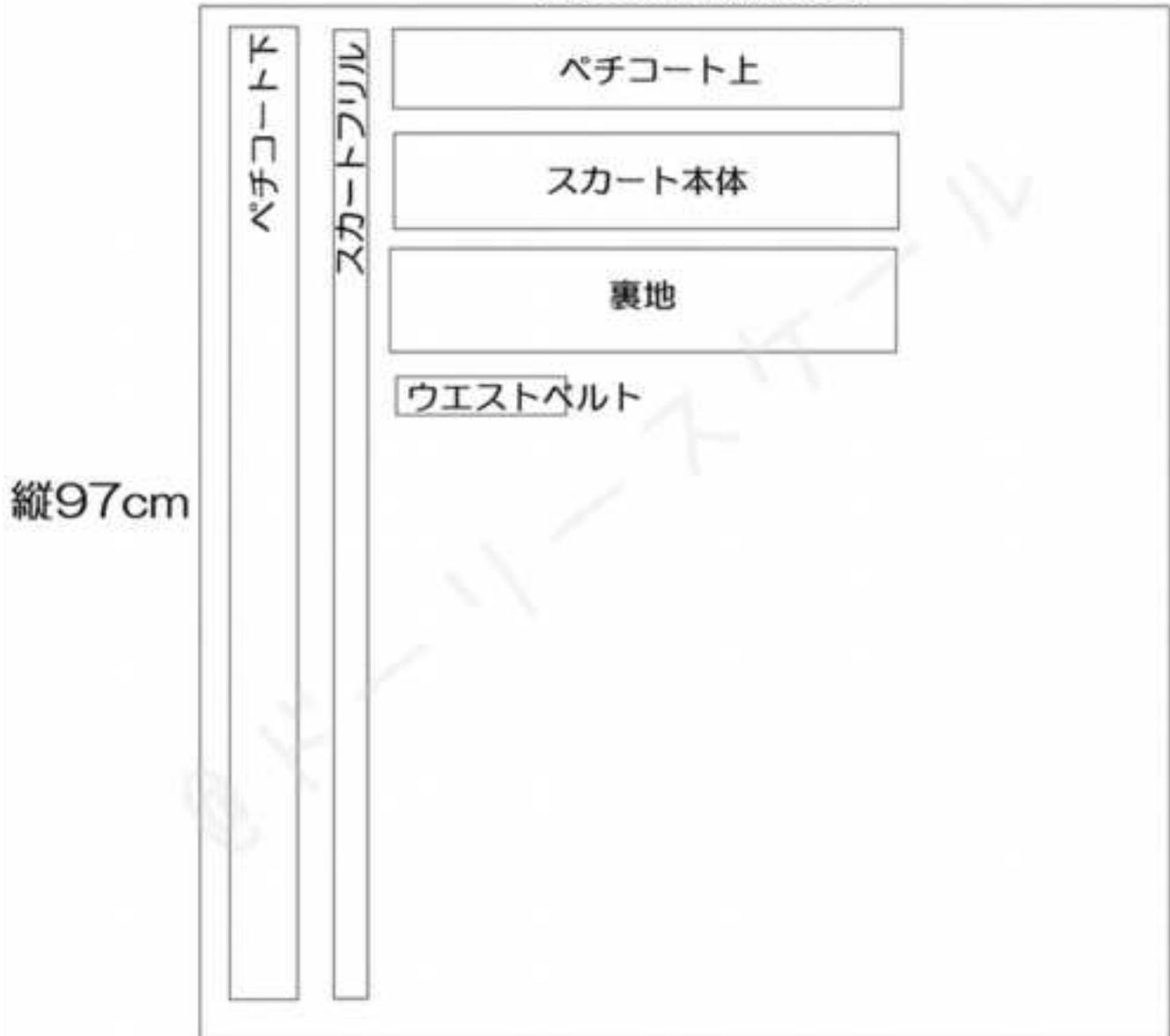
# 【作り方説明書】

## 裾スカラップ&フリルスカートの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40cm ソフビ</li> <li>・58cm ソフビ M,L,LL</li> </ul> <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.23mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薄手の柔らかい生地</li> <li>・3mm 程度のリボン</li> <li>・コンシールファスナー</li> <li>・スプリングホック</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①スカートフリル 1 枚→そのまま 1 枚</li> <li>②ペチコート下 1 枚→ //</li> <li>③ペチコート上 1 枚→ //</li> <li>④スカート本体 1 枚→ //</li> <li>⑤裏地 1 枚→ //</li> <li>⑥ウエストベルト 1 枚→ //</li> </ul> <p>合計：6 枚 のパーツで構成</p>
Empty space for additional instructions or diagrams	

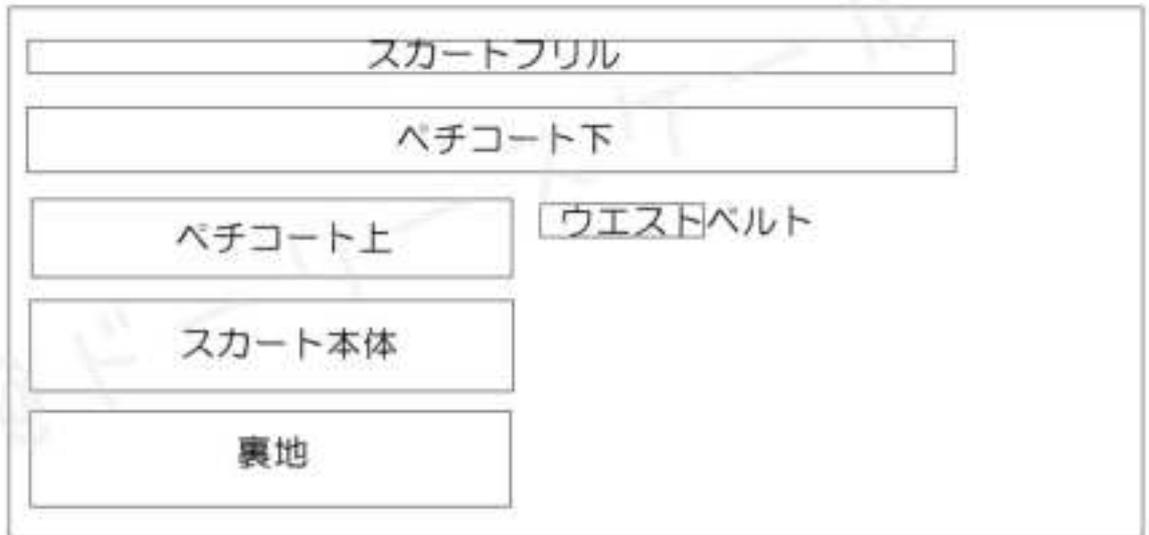
■必要な布量参考数値

【裾スカラップ&フリルスカートの型紙 40cm】  
横90cm(縦置き)



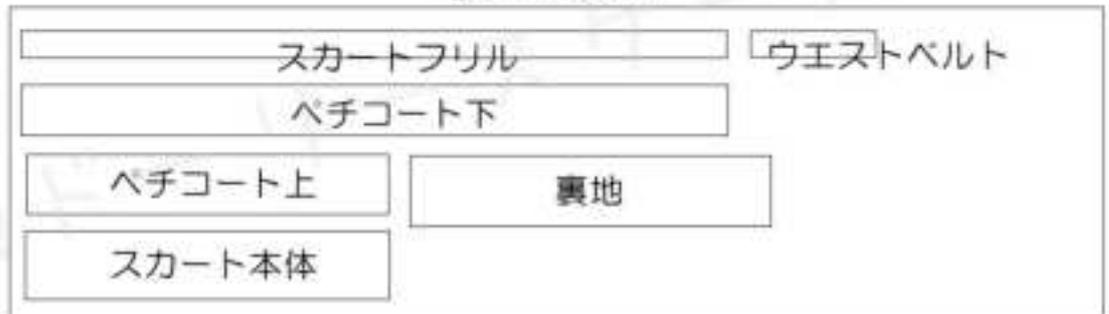
【裾スカラップ&フリルスカートの型紙 40cm】  
横110cm

縦51cm



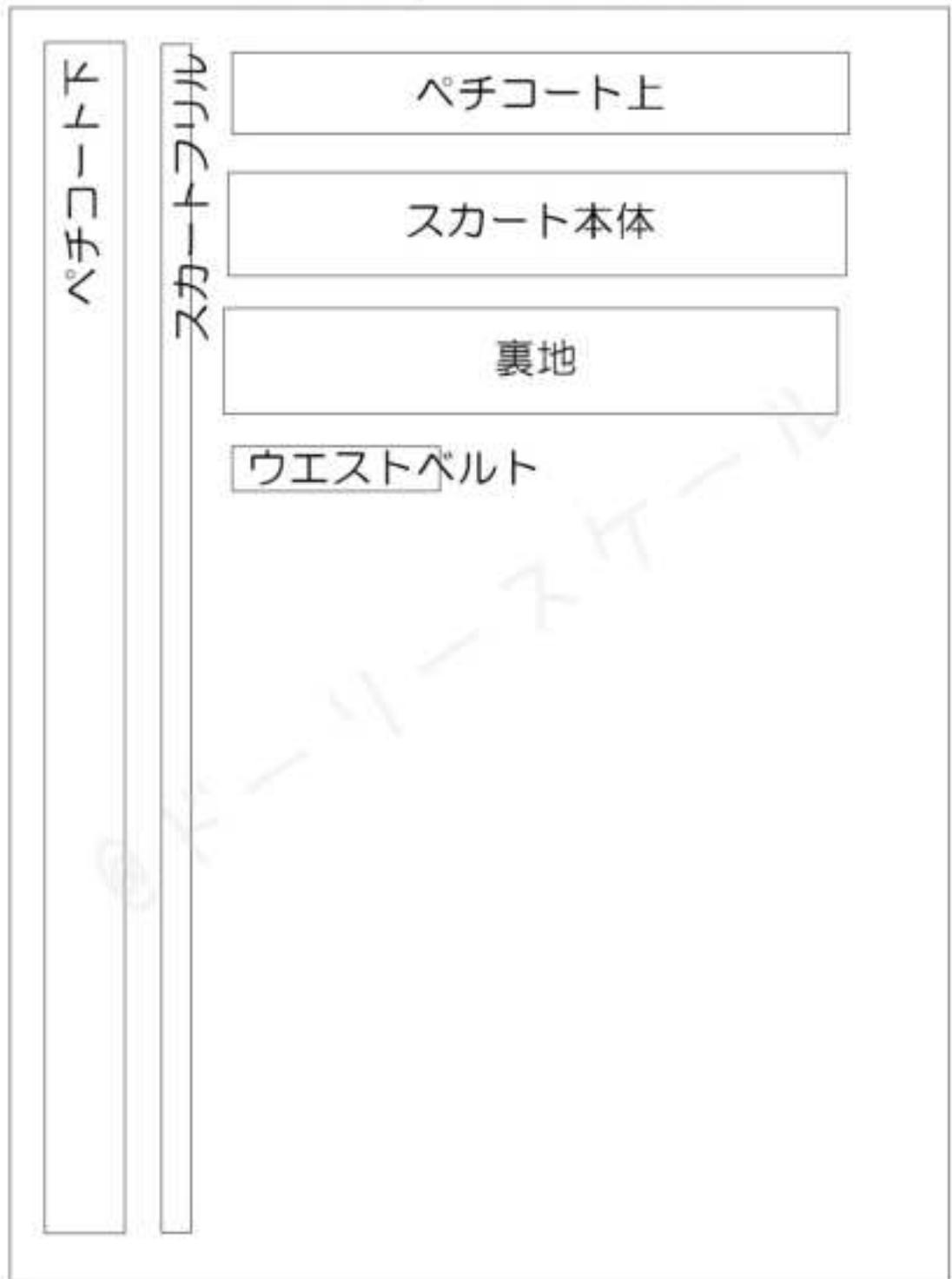
【裾スカラップ&フリルスカートの型紙 40cm】  
横140cm

縦39cm



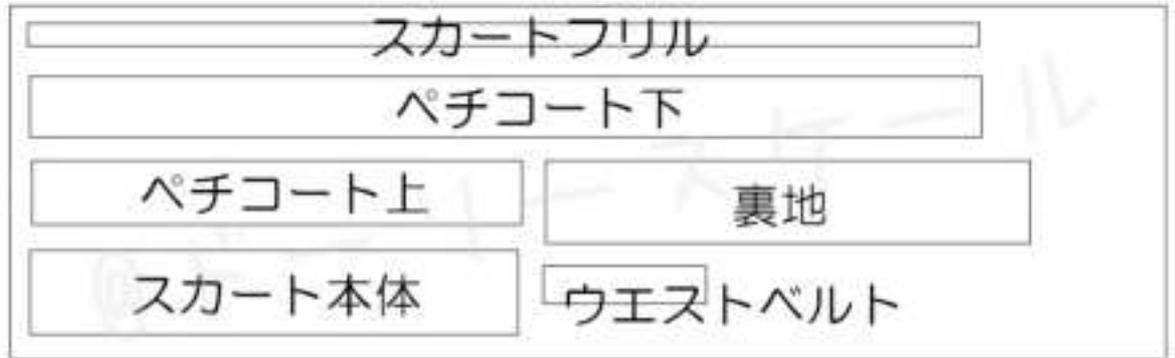
【裾スカラップ&フリルスカートの型紙 58cm】  
横90cm,110cm(縦置き)

縦123cm



## 【裾スカラップ&フリルスカートの型紙 58cm】 横140cm

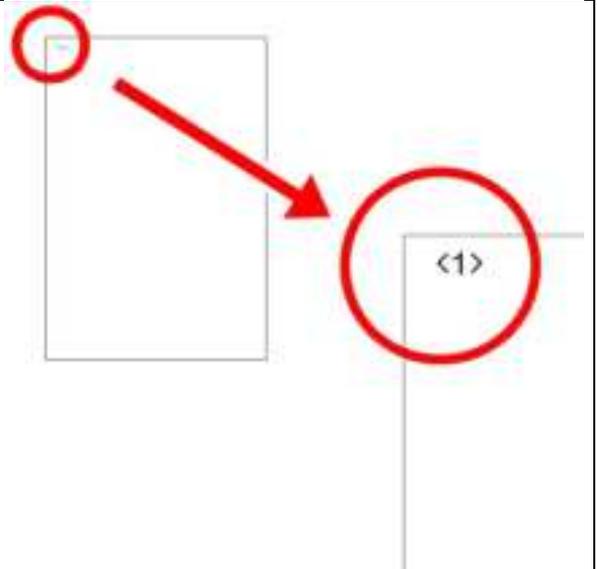
縦42cm



01. 型紙を貼り合わせる。※一例を挙げて説明しています。

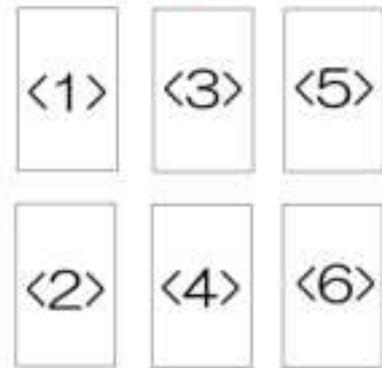
- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。  
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。  
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。  
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。



② <1>の型紙に記載されている通りに  
型紙を並べる。

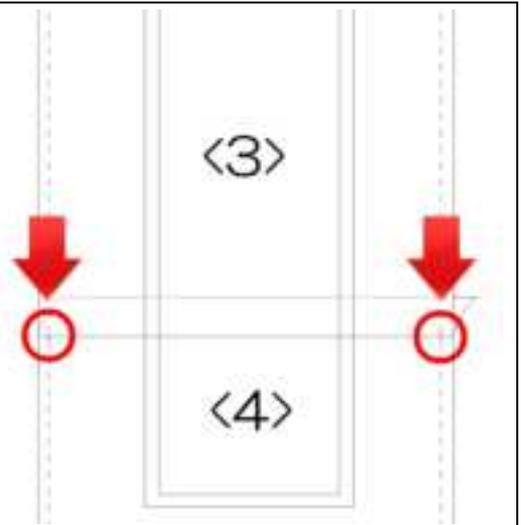
「青色の数字の型紙貼り合わせる」  
という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

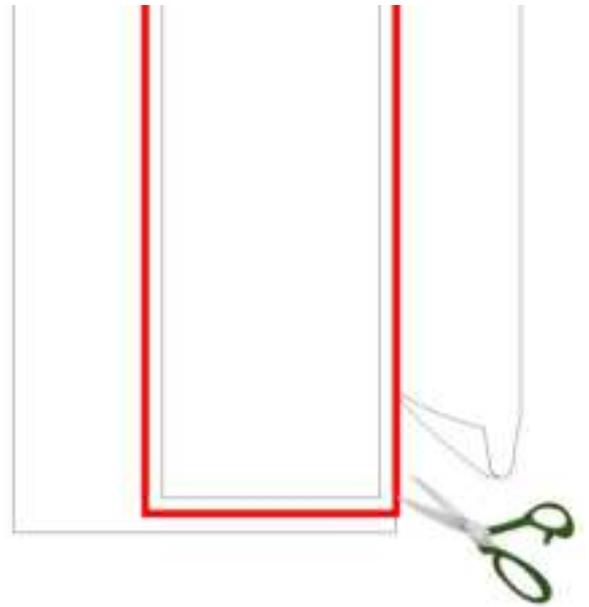


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



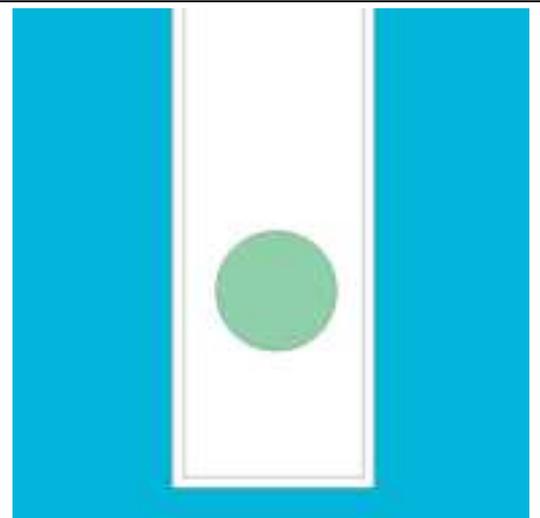
02. 型紙を切り取る。

02~07の右図は全型紙共通で使用  
しています。



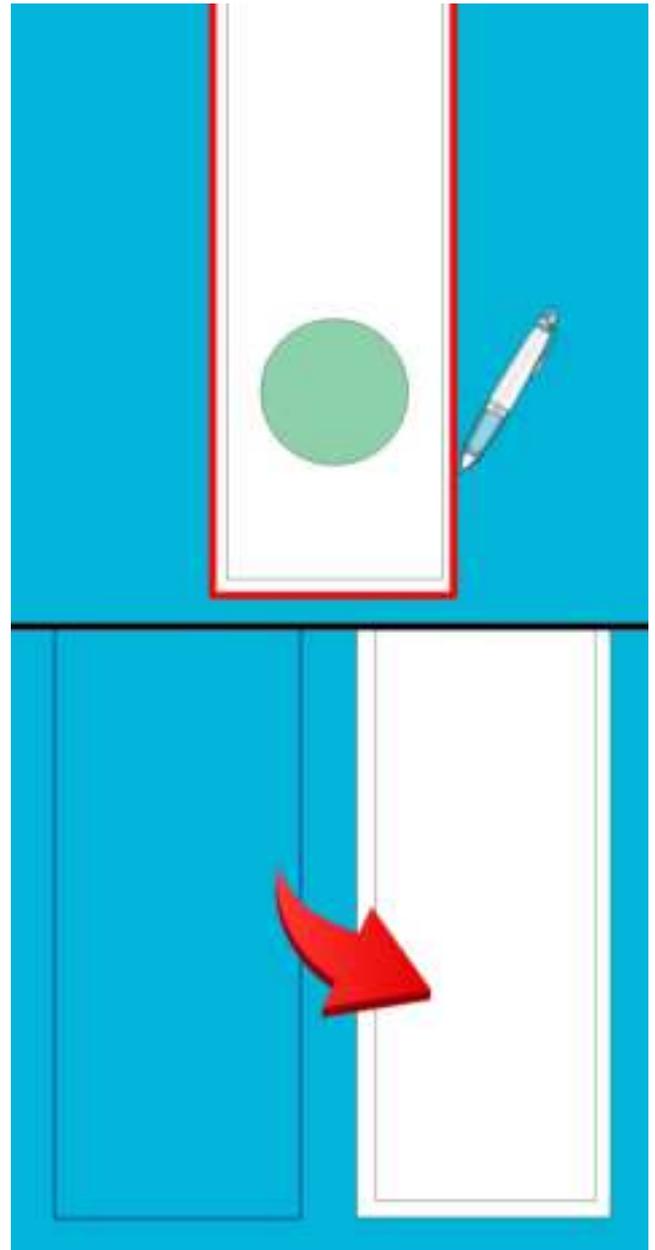
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で  
型紙が動かない様にする。

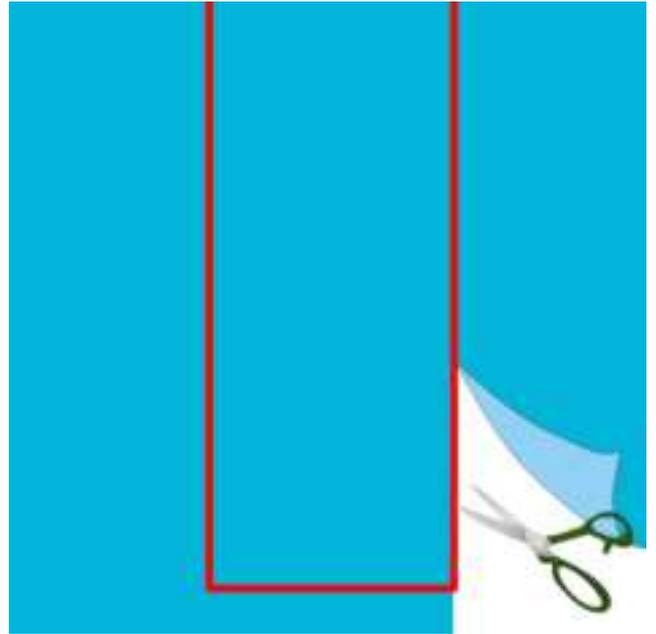


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら  
型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
- ・カリスマシャープペンシル
- ・クロバー 水性チャコペン

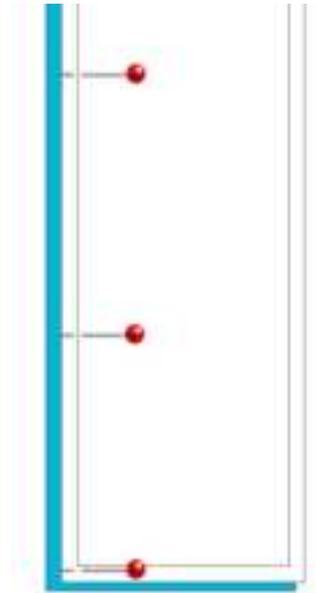


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれない様にするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕

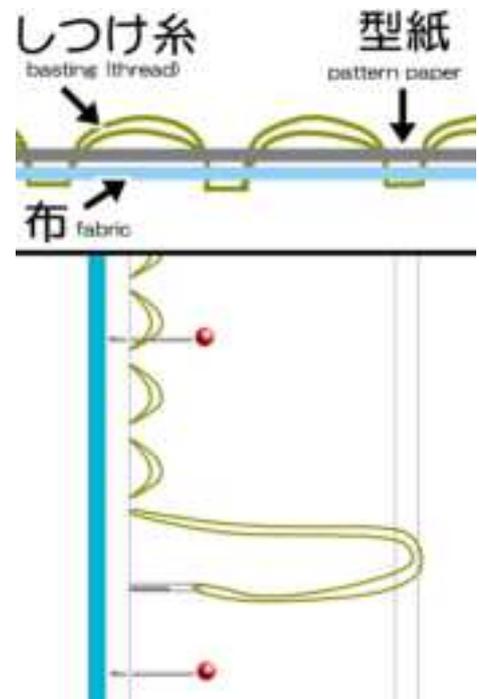


- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す
- B. 布を刺す
- C. 0.3cm 程度すくうように縫う
- D. 型紙を刺す
- E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



布の表  
right side

- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て、  
+ に見えるように針を刺す。

型紙側  
Paper pattern side

合い印  
matchmarks

布の表  
right side

④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。

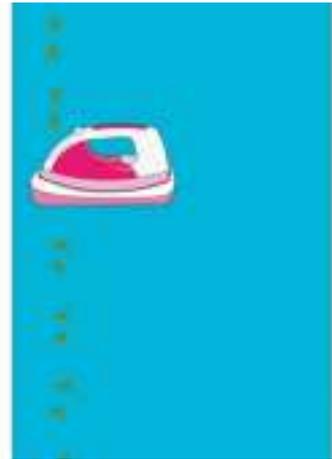


⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

[ 糸を抜き取らない様に注意。 ]



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. スカートのフリルの下側、ペチコート上の下側、ペチコート下の上下にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。  
スカートのフリルとペチコート下は可能なら  
巻ロックがおすすめ。

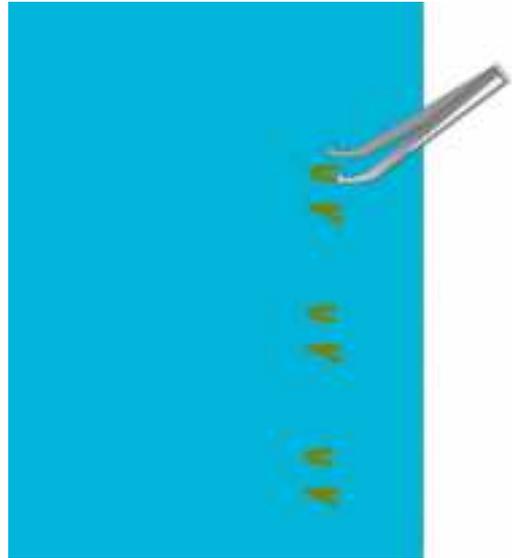


09. スカートのフリルの下部を、出来上がり線で折って縫う。



10. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



11. スカートのフリルの上側、ペチコート下の  
“ギャザーを寄せる” にギャザーを寄せる。



- ①ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。  
[ダイヤルの場合は0にする。]



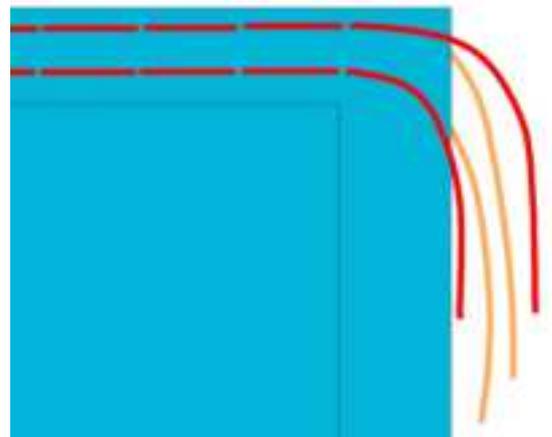
- ②縫い目の長さを 4mm 程度にする。



- ③縫い始めの糸は上下共に 10cm 以上出しておく。  
〔上糸と下糸の色を変えておくと、  
後でわかりやすい。〕



- ④布の端から 2mm 程度のところを縫い、  
縫い終わりの糸も 10cm 以上残して切る。  
2 本目は布端から 4mm 程度のところを縫う。



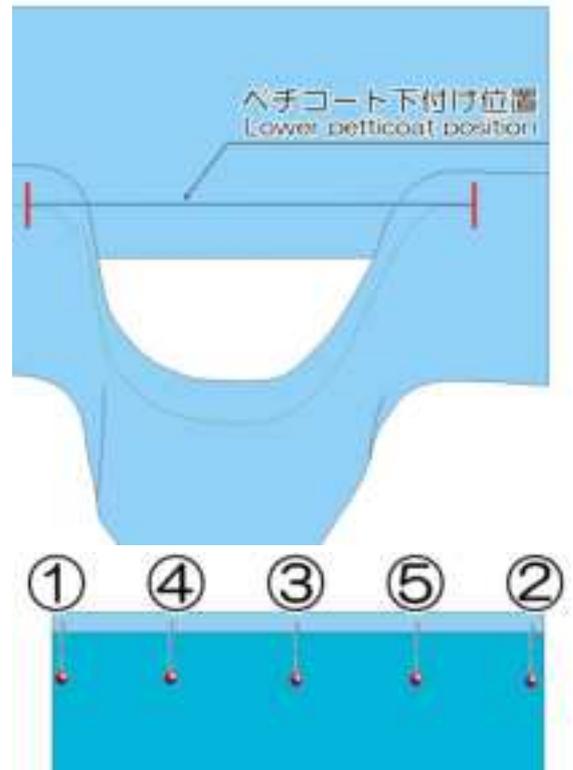
- ⑤上糸の調節 (①) と、縫い目の長さ (②) を元に戻す。

12. ペチコート下の上下両方を、出来上がり線で折って縫う。



13. ペチコート上の「ペチコート下付け位置」にペチコート下を合わせ、ギャザーを寄せる。

- 待ち針は
- ①②布の両端からとめる。
  - ③次に中央
  - ④⑤最後にその間を埋める様にとめていく。



①型紙に書かれている I の印に合わせて、待ち針で止める。



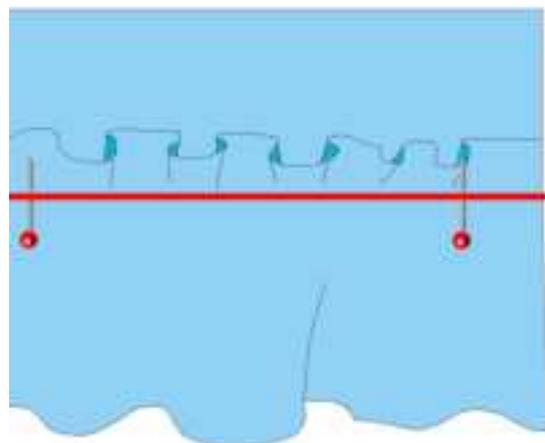
②下糸だけを引っ張り、ギャザーを整えて待ち針でとめる。

〔画像は下糸に黒糸を使用。〕

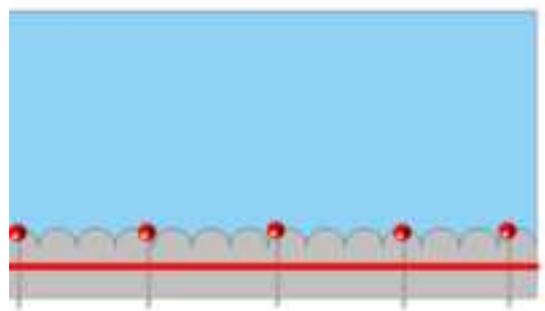


14. ギャザーを寄せたところを縫う。

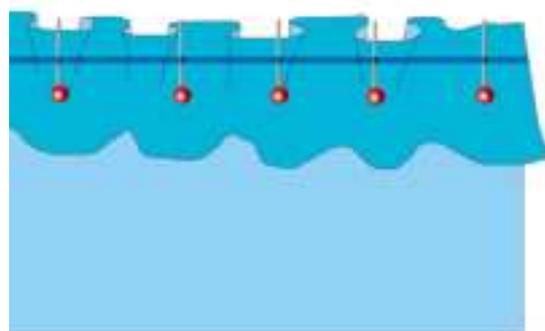
〔どうしても出来上がり線で縫えない場合は、一度仮縫いしてからミシンで縫う。〕



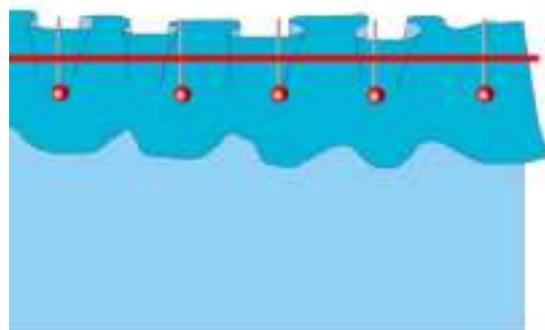
15. 表が内側になる様に裏地の下側と、レースを合わせ縫い付ける。



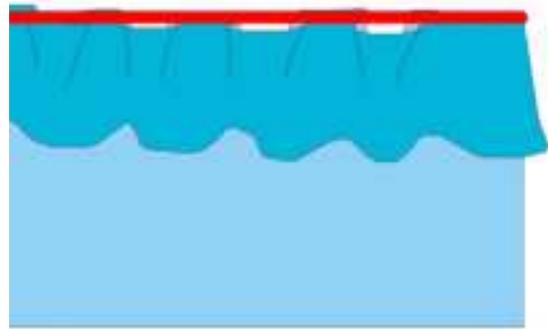
16. 表が内側になる様にスカートと、スカートフリルを合わせギャザーを寄せる。



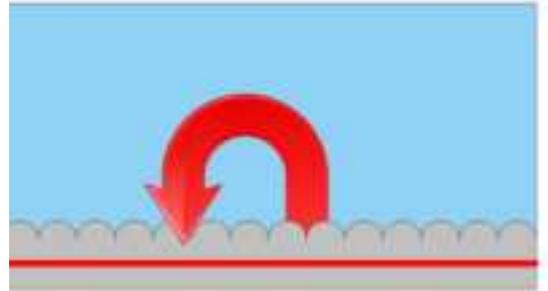
17. ギャザーを寄せたところを縫う。



18. 15、17 のところにロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



19. 15 でレースを縫ったところを出来上がり線で折る。

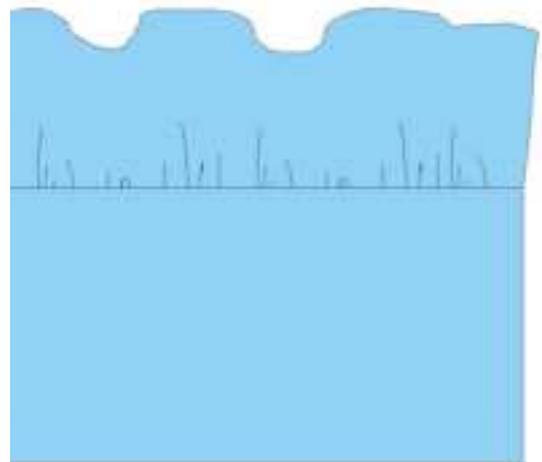
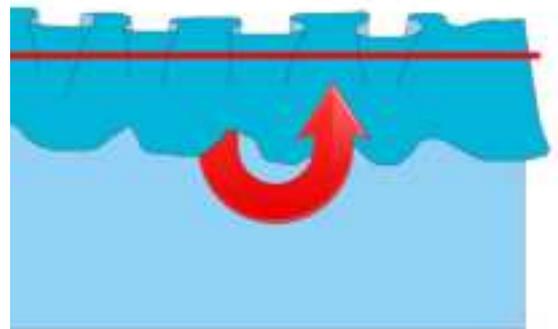


20. 裏地の縁を縫う。

〔縫い代は裏布側へ倒す。〕

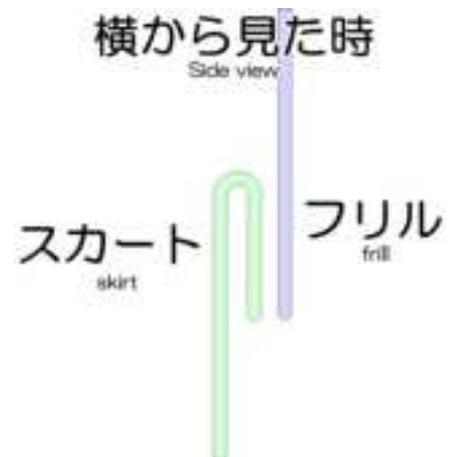
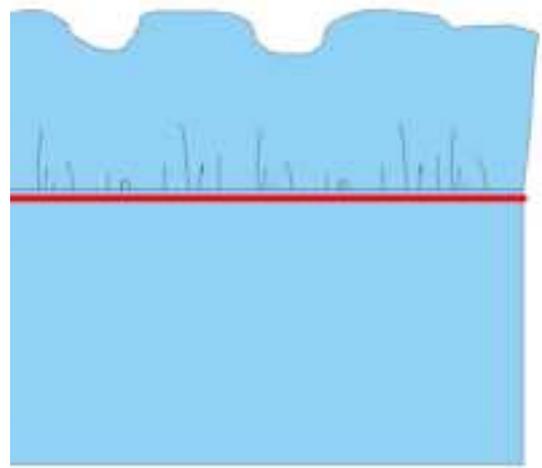


21. 16 でスカートフリルを縫ったところを折る。

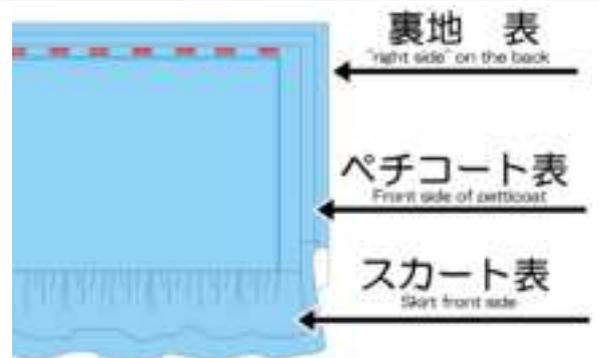


22. スカートの縁を縫う。

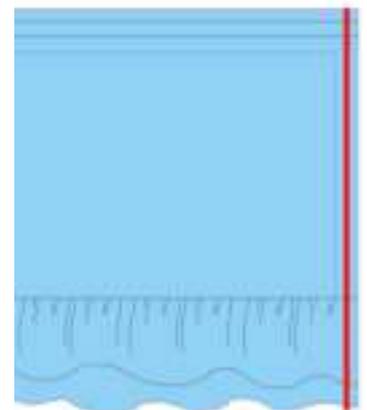
[ 縫い代はスカート側へ倒す。



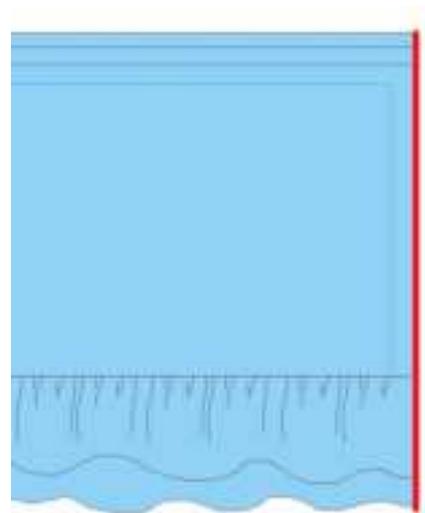
23. 裏地表、ペチコート表、スカート表の順に重ねてギャザーを寄せるミシンで3枚一緒に縫う。



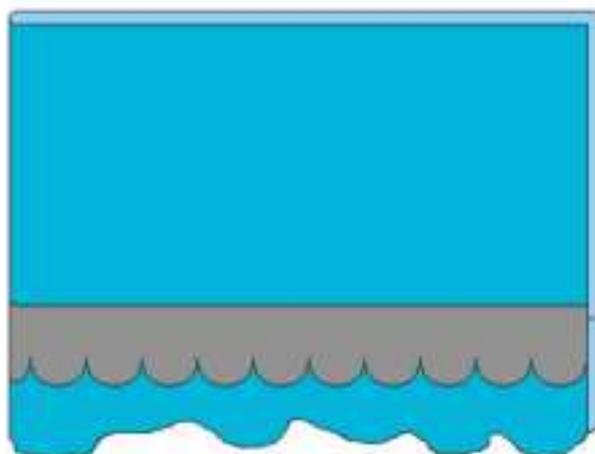
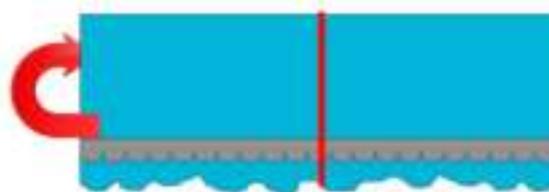
24. 3枚一緒に両脇を仮縫いする。



25. 24で縫ったところにロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



26. 表が内側になる様に、脇同士を合わせる。



27. ウエストから開き止まりまでを、0.4cm 程度の縫い目で縫う。

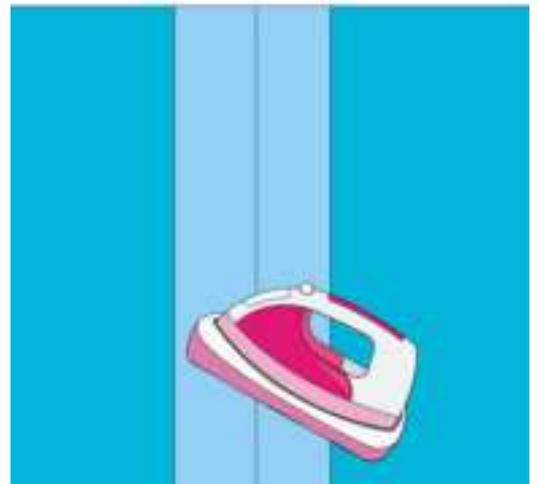
〔 仮止めなので返し縫はしない。〕



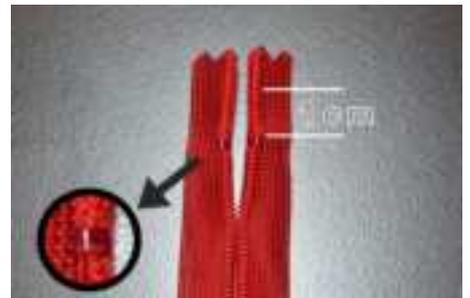
28. 27で縫った下から裾までを普通の縫い目で縫う。  
 [ここは解れない様に返し縫いをする。]



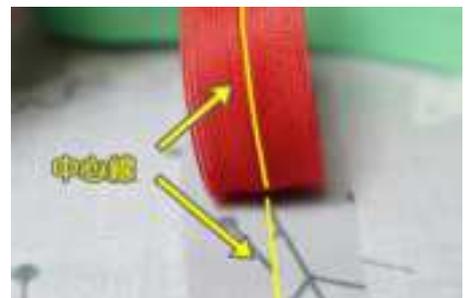
29. 28のところを左右に開いて、アイロンをかける。



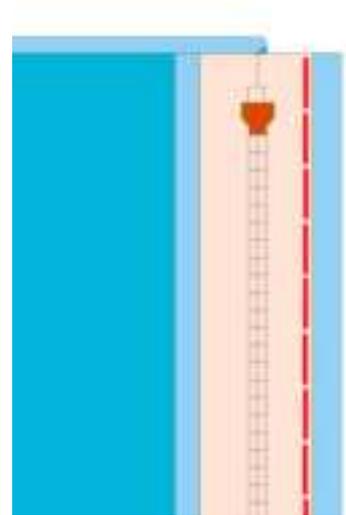
30. コンシールファスナーの上部を1cmになる様に切る。  
 [コンシールファスナーの上部に透明の“上止”があるので、その上を1cmに切る。]



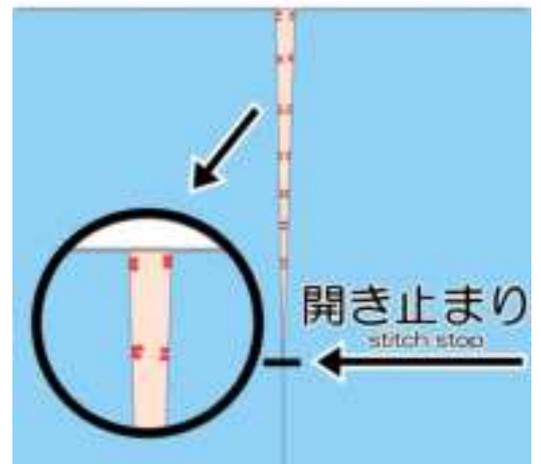
31. コンシールファスナー中心と、29で開いた縫い目を合わせる。



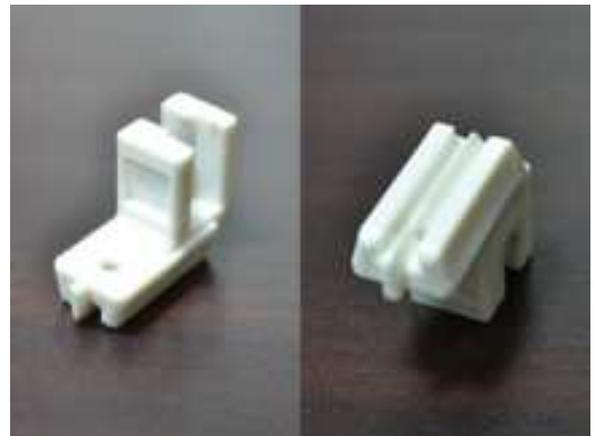
32. 仮止めをする。反対側も同じように縫う。  
 [スカート本体は避けて、ファスナーと縫い代のみを縫う。



33. ウエストから開き止まりまでの糸を切る。  
 [ 開き止まりから下の糸を切らない様に注意。  
 リッパーを使うと切りやすい。



34. ミシンに”コンシールファスナー押さえ”を取り付ける。  
 [ 右図の様なアタッチメントも売られている。  
 おすすめは**ミシンの純正品**、  
 もしくはミシンの対応メーカー名が記載された物。  
 無記名のものは場合によっては、  
 ミシンに合わない事もあるので注意。



35. スライダーを開き止まりまで下げる。



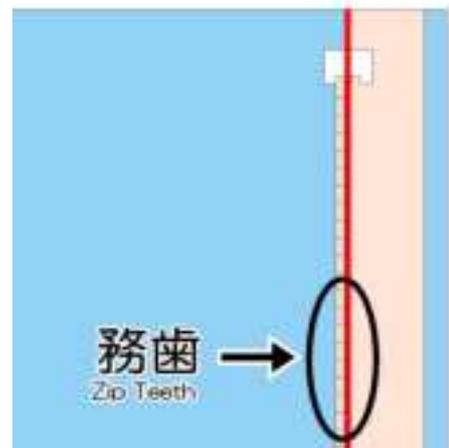
36. 務歯(むし)を押さえの溝に入れて、開き止まりまで縫う。

反対側も同じ様に縫う。

スカート表から縫う。

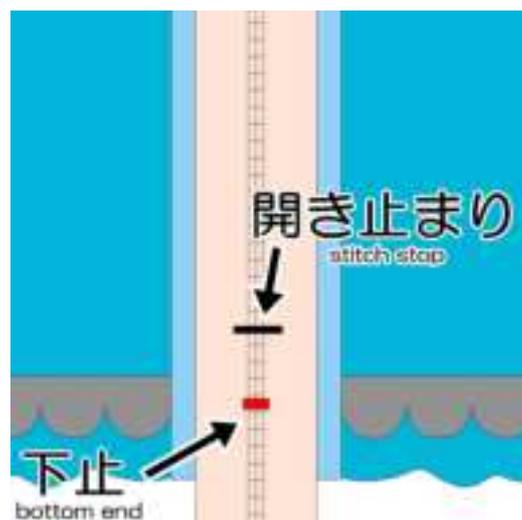
布端が右の時は左側の溝に、布端が左の時は右側の溝に務歯を入れる。

※務歯とは、ファスナーを開閉する為に歯のようになって連なっている部分の事。

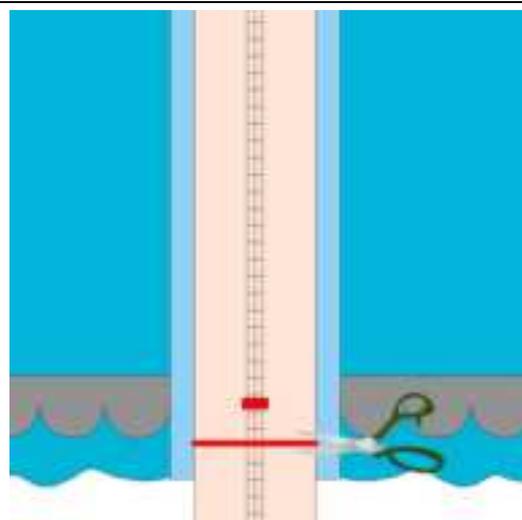


37. コンシールファスナー押さえを、普通の押さえに戻す。

38. 下止の金具を、開き止まりの1cmくらい下に移動して、ペンチで潰して動かない様にする。



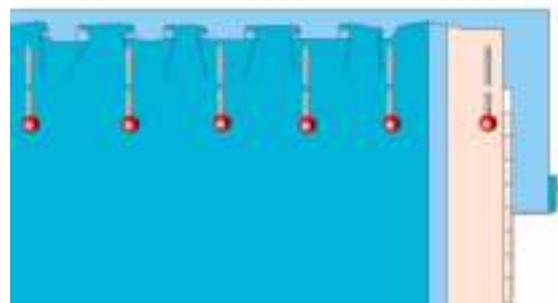
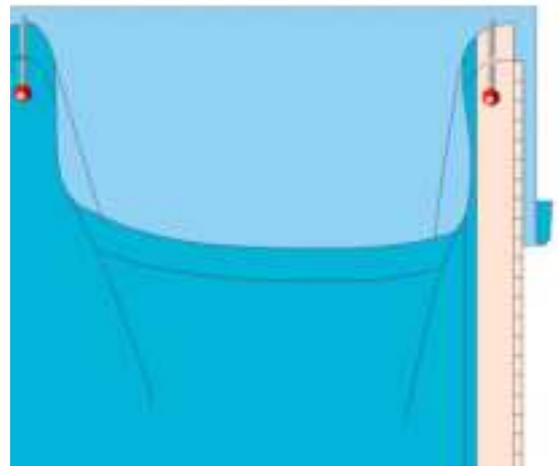
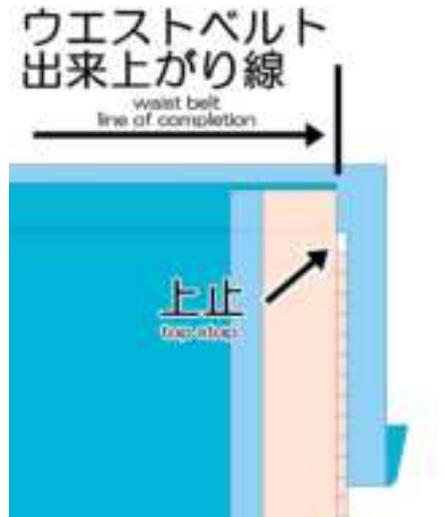
39. 下止の下、1cmくらいをハサミでカットする。



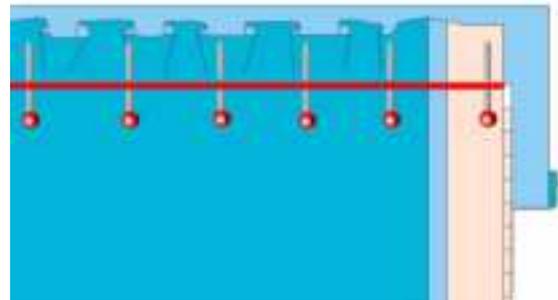
40. ウエストベルトの下部をアイロンで折る。



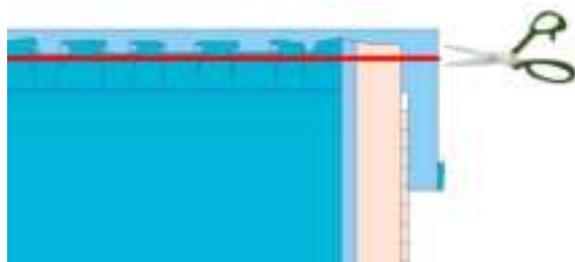
41. 表が内側になる様に、  
ウエストベルト上側とスカートを含ませギャザーを寄せる。



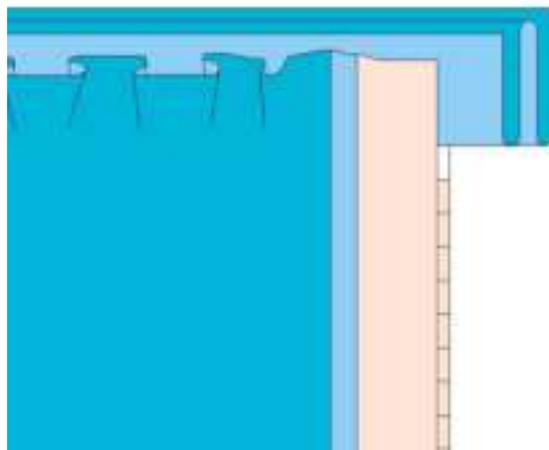
42. ギャザーを寄せた部分を縫う。



43. 縫い代を 0.7cm くらいにカットする。  
※40cm 用のみ該当。58cm は次の工程へ。



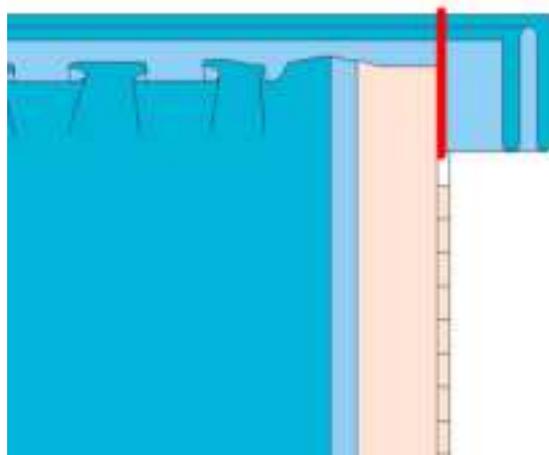
44. ウエストベルトを折りたたむ。



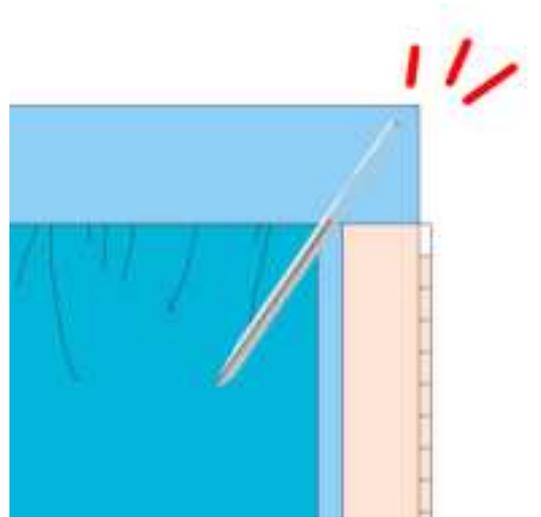
横から見た時  
side view



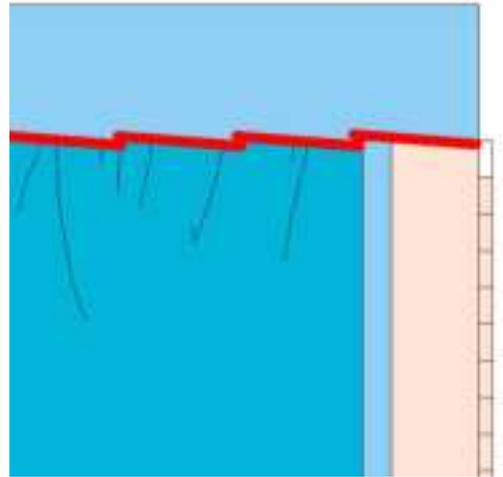
45. 端を縫う。



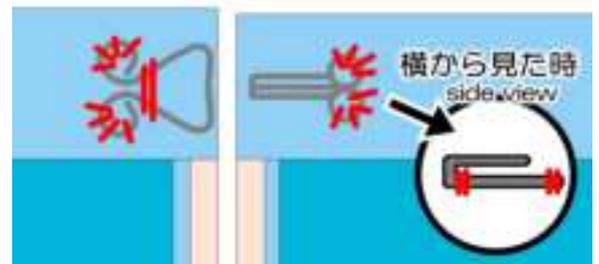
46. 45で縫ったところをひっくり返し、  
太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。



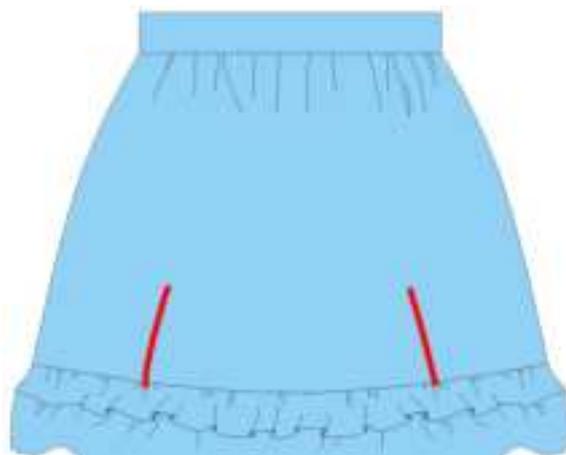
47. ウエストベルトの下部をまつ。



48. ウエストベルト内側にスプリングホックをつける。



49. スカートの印のところを縮める。



---

50. お好みで 49 のところにリボンをつける。

---

お疲れ様でした！